



# 安渡小で炊き出し

## 避難者ら600人に焼き肉

樋下建設

樋下建設株式会社（本社・盛岡市、樋下光代表取締役社長）は5日、東日本大震災で津波被害を受けた大槌町の避難所で炊き出しを行った。炊き出したのは安渡地区津波対策本部が設置され、現在

約270人が避難している町立安渡小学校。当日は避難者と地域住民合わせ約600人に焼き肉を振る舞った。同社は当日朝6時30分に盛岡を出発。9時30分に現地に着し敷地内にテントシート、炭、鉄板などを準備。肉200キ、野菜100キを用意し、昼食の

時間帯に合わせ調理していった。

小春日和の中、肉を焼く音と甘辛い匂いが周囲に広がり、焼き肉を提供された避難者らは美味しそうに食べていた。

同町新港町から避難している田中勝男さん、恵子さん夫妻は、「毎日おにぎりとおみそ汁だけの食事だったので、肉料理はうれしい。自宅が流され、作る場所もないので本当にありがたい」と感謝していた。

「避難者らに焼き肉を振る舞う」